

財団法人 日本サッカー協会

2011 年度 第 1 回理事会

協議事項

1. 3月29日東日本大震災チャリティーマッチ義援金等の件

3月29日(火)に大阪市長居陸上競技場にて開催したチャリティーマッチ SAMURAI BLUE (日本代表) vs Jリーグ選抜 (TEAM AS ONE) の大会における収益金、並びに、チャリティーマッチに関連して実施して得た募金等について、以下の通りとしたい。

(1) チャリティーマッチにおける収益金について、寄付先の配分を検討する
チャリティーマッチ収支及び収益

収入：199,396,598 円

支出：85,898,106 円 *4月11日時点、海外クラブ選手1名分旅費未計上

収益：113,498,492 円

① 義援金として、J F A義援金口座を通じて日本赤十字社へ寄付する金額
金額：63,498,492 円

② サッカーファミリー復興支援金に充てる金額
金額：50,000,000 円

(2) チャリティーマッチに関連して実施した活動で、J F A義援金口座を通じて日本赤十字社に寄付するもの

① 募金活動

総額：22,317,199 円

3月26日(土)：2,546,378 円

27日(日)：6,374,072 円

28日(月)：6,067,802 円

29日(火)：7,328,947 円

② 物販収益

総額：33,891,485 円

・J F A売店：23,682,285 円 (Tシャツ、日本代表オリジナルエフォーム)

・Jリーグ「エンタープライズ」売店：10,209,200 円 (Tシャツ、マフラー)

義援金として、日本赤十字社に寄付する金額 119,707,176 円

サッカーファミリー復興支援金に充てる金額 50,000,000 円

(3) チャリティーオークション (現在開催中)

チャリティーマッチに関連したオークションを開催。両チームの選手が実際に着用したユニフォーム、監督のサイン入りボール、および選手が自ら持ち寄ったスパイクやユニフォームなどを提供、入札金額を義援金として、J F A義援金口座を通じて日本赤十字社に寄付する。

<概要>

◇ J F A ホームページ（楽天オークション）で申込み受け付け

【入札期間】

第1回：4月4日（月）～11日（月）

第2回：4月11日（月）～18日（月）

第3回：4月18日（月）～25日（月）

第4回：4月25日（月）～5月2日（月）

第1回出品内容（入札金額 約600万円：4/8日時点）

- ・SAMURAI BLUE 全選手サイン入りボール
- ・SAMURAI BLUE 川島、岩政、伊野波、阿部、柏木、前田、本田（圭）各選手着用ユニフォーム
- ・Jリーグ選抜 関莉王、茂庭、小笠原、原口、大久保各選手着用ユニフォーム
- ・SAMURAI BLUE 全選手サイン入りユニフォーム(1)
- ・SAMURAI BLUE 全選手サイン入りチャリティーマッチTシャツ(1)
- ・Jリーグ選抜 選手サイン入りユニフォーム
- ・Jリーグ選抜全選手サイン入りチャリティーマッチTシャツ
- ・チャリティーマッチ 西村主審着用レフェリーシャツ審判員サイン入り
- ・長友佑都選手サイン入りスパイク
- ・内田篤人選手サイン入りスパイク

(4) その他

今回のチャリティーマッチ開催にご協力いただいた関係者および各社は以下のとおり。

<法人>

大阪府 F A：運営委託費減額

Jリーグ：オリジナルグッズ販売収益を全額寄付（Jエンターは販売を無償協力）

大阪市・（財）大阪市スポーツ・みどり振興会：

競技場使用料・加算額・看板掲出料・売店出店料を無料

アディダスジャパン：SAMURAI BLUE オリジナルユニフォームの販売収益を全額寄付

大日本印刷：試合公式記録費用を全額無料

関西エニホール：警備費減額

ミスオト：人件費、交通費を減額

ボランチ：全額無料（国歌歌手のコーディネート、当日テレビクションの担当社）

ボトムアップ：全額無料

J T B：人件費無償

P D R：プロトコール業務費減額

ぴあ：入場券購入者のシステム利用料を全額寄付

<個人> *敬称略

SAMURAI BLUE：無償出場

Jリーグ選抜：無償出場

西村雄一 : 審判手当無償、旅費自己負担

相楽 亨 : 審判手当無償

JEONG. H. S : 審判手当無償

倉木 麻衣 : 無償出演 (国歌歌手)

<その他>

会場での募金活動に無償 (交通費負担) で以下の皆様にご協力いただきました。

- ・ SAMURAI BLUE
- ・ Jリーグ選抜
- ・ なでしこジャパン (佐々木監督、澤、近賀、大野各選手他)
- ・ 日本代表 OB 選手、Jリーグ OB 選手
- ・ ガンバ大阪、セレッソ大阪、ヴィッセル神戸、京都サンガの関係者
- ・ 足立梨花 (2011 Jリーグ特命 PR 部 女子マネージャー)
- ・ 関西大学サッカー部
- ・ 西野田工科高等学校サッカー部
- ・ 東住吉総合高等学校サッカー部
- ・ 日本代表サポーター
- ・ ボランティアスタッフの皆様

2. 東日本大震災 復興支援活動の件

(協議) 資料No. 1

JFAでは、この度の東日本大震災で甚大な被害を受けている被災地・被災者の復興支援として、3月16日に義援金口座を開設、3月29日には、復興支援チャリティーマッチを実施。また、適時、救援活動として、救援物資等を被災地に運んでいる。

今後については、岩手県、宮城県、福島県の3県を中心に被災されたサッカーファミリーに対し、JFAをはじめ、サッカーファミリーが一丸となって全力で復興支援を行うこととしたい。

復興支援にあたっては、被災地、被災者の方々が必要としている活動を見極め、義援金や支援金、物心両面からの支援等を重点に、被災地のサッカー協会と連携し、新規に展開する「サッカーファミリー復興支援金」募金活動による募金を有効活用しながら、被災者やサッカーファミリーに笑顔と希望を与え、早期にスポーツやサッカーが楽しめる環境を取り戻せるよう、サッカーファミリーが一体となって取り組むこととしたい。

(1) 東日本大震災 復興支援検討委員会

今後の復興支援活動の実施にあたり、「サッカーファミリー復興支援金」の有効活用について、復興支援プロジェクト事務局より、提案された各種活動計画、並びに予算配分等について、審議・決定する。

委員長 : 小倉 純 二 会長

委員 : 大仁 邦 彌 副会長

: 田嶋 幸 三 副会長・専務理事

: 田中 道 博 常務理事・事務局長

(注) 審議・検討に機動性を持たせる為、メンバーはJFA常勤役員の一部と限定的にしたもの。

<事務局：復興支援プロジェクト>

事務局では3/11の地震発生当日に「地震対策本部」を立ち上げ、災害初期での種々の対策を進めた。その後も引き続き被災地の救援活動について検討していたが、3/22付けで正式に対策本部を「東日本大震災復興支援プロジェクト」として発足させた。プロジェクトではメンバーを中心に局内を上げて出来る支援策を企画・検討・実施しており、既に3/25に宮城、3/30と4/9に福島、4/6に岩手に救援物資を運んでいる。

リーダー：福井一也 事務局次長
サブリーダー：真田幸明 総務部長
メンバー：西澤和剛 広報部長
：松田利幸 広報部情報戦略グループリーダー
：野仲賢勝 マーケティング部部長代理
：高埜尚人 マーケティング部部員
：吉村政弘 競技運営部部長代理
：根本敦史 PHQ係長
：貝瀬智洋 競技運営部係長
：市川優子 審判部係長
：福島陽子 競技運営部部員

※必要に応じてメンバーを追加します。

(2) サッカーファミリー復興支援金 (協議) 資料No. 2 ①②

日本赤十字へ寄付する義援金とは別に、被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、誰もがいつでもサッカーを楽しむことが出来る環境の復興を目的とした「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設、地域・都道府県サッカー協会と連携を取りながら募金活動等を展開していきたい。

尚、集まった復興支援金については、別紙運用細則に基づいて運用される。

募金団体：(財)日本サッカー協会 会長 小倉純二

〒113-8311 東京都文京区サッカー通り (本郷3-10-15) JFAハウス

銀行口座：三菱東京UFJ銀行(0005)渋谷支店(135)

普通預金 口座番号 0290451

(財)日本サッカー協会 東日本大震災 サッカーファミリー復興支援金口

開設日：2011年4月15日

(3) サッカーファミリー登録料免除措置

東日本大震災の影響により被災されたJFA登録者に対し、特別措置として2011年度の登録料を免除並びに資格の休止措置対応等を実施したい。尚、詳細については、追って、各担当部署より連絡することとする。

①免除対象

岩手県／宮城県／福島県サッカー協会を主とした被災地域の登録者。

免除対象者の特定は、被災して他都道府県へ避難または転居している方を含め、各都道府県サッカー協会の裁量に基づく。

②免除対象カテゴリー

1. チーム・選手登録(チーム、選手、監督)
2. フットサル個人
3. 審判(2012年度分)
4. 指導者
5. 役員

③免除額

各登録料のうちJFA登録料にあたる金額

④対応方法

全てのカテゴリーにおいて、都道府県サッカー協会より免除対象者(チーム)をJFAに申請いただく事を原則として、申請フォーマットおよび詳細の対応方法につきましては、近日中に改めてご連絡いたします。

3. F I F Aクラブワールドカップの件

F I F Aクラブワールドカップ J F A実行委員会について

2011・2012年大会の運営を進めるにあたり、2005～2008年大会同様以下にて実行委員会を組織したい。

| | | |
|------|-------|---------------|
| 委員長 | 小倉 純二 | 会長/F I F A理事 |
| 副委員長 | 大仁 邦彌 | 副会長 |
| 副委員長 | 大東 和美 | 副会長/Jリーグチェアマン |
| 副委員長 | 田嶋 幸三 | 副会長兼専務理事 |
| 委員 | 中野 幸夫 | 常務理事/Jリーグ専務理事 |
| 委員 | 田中 道博 | 常務理事/事務局長 |
| 委員 | 福林 徹 | 理事/スポーツ医学委員長 |
| 委員 | 松崎 康弘 | 理事/審判委員長 |

※マッチフォーマット確定後に開催ベニユー協会からの委員選出予定

4. 2010年度公認S級コーチ養成講習会判定結果の件

全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記3名を公認S級コーチとして認定したい。

氏 名 : 小村 徳男 (おむら のりお)

指導チーム : 順天堂大学

生年月日 : 1969年9月6日

資 格 : 2009年 A級ライセンス

指 導 歴 : 2009年～ 順天堂大学 コーチ

2009年～ サッカースクール SKY (U-8・U-10・U-12)

氏 名 : 鳴尾 直軌 (なるお なおき)
 指導チーム : グルージャ盛岡
 生年月日 : 1974年10月5日
 資 格 : 2007年 A級ライセンス
 指導歴 : 2005年 アルビレックス新潟 普及部コーチ
 2006年～2007年 アルビレックス新潟 レディース監督
 2008年 アルビレックス新潟シンガポール ヘッドコーチ
 2009年 アルビレックス新潟シンガポール 監督
 2010年 アルビレックス新潟 育成普及部 普及コーチ
 2011年 グルージャ盛岡 コーチ

氏 名 : 三浦 雅之 (みうら まさゆき)
 指導チーム : ノルディアーア北海道
 生年月日 : 1966年11月4日
 資 格 : 2004年 A級ライセンス
 指導歴 : 1997年～2002年 コンサドーレ札幌 U-15 監督
 2002年～2003年 コンサドーレ札幌 トップチームコーチ
 2004年～2006年 コンサドーレ旭川 U-15 監督
 2007年～2009年 コンサドーレ札幌 トップチームコーチ
 2010年 コンサドーレ札幌広報事業部
 2011年～ ノルディアーア北海道 監督

※参考：現S級コーチライセンス保持者数： 334名（上記3名含む）

5. 慈善試合の入場料に対する納付金免除の件

(協議) 資料No.3

6. 日本人指導者海外派遣の件

(協議) 資料No.4

シンガポールサッカー協会からの要請を受け、アジア貢献事業の一環として、下記指導者を契約の上、派遣したい。派遣時期は、4月中旬を予定している。

尚、古賀氏派遣に関しJFAは古賀氏が所属するセレッソ大阪と出向契約を締結することとしたい。

派遣者： 古賀琢磨 (こが たくま) (41歳)

派遣先協会：シンガポールサッカー協会 (FAS)

資格： 公認S級コーチ (2006年取得)

役 職： U-16 シンガポール代表チームの監督

契約期間： 2011年3月15日～2012年1月31日

費用負担： [JFA] 給与及び傷害保険料

[FAS] 給与の一部、住居・自動車、日本-シンガポール間の航空券

略 歴： 添付別紙のとおり

<背景及び実施理由>

シンガポールサッカー協会は現在FIFAランキング139位であるが、アセアンの中で

| |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>は上位国である。2008年影山雅永氏をU-16代表監督として一年間派遣したが、それに続いてJFAに対して2回目のU-16代表監督派遣の要請が今年2月にあった。</p> <p>今回担当するチームは2010年8月にシンガポールで行われたユースオリンピック(U-15)において3位になり、AFC U-19選手権2014をめざす期待のチームである(AFC U-19予選は2013年10月・11月に開催される)。シンガポールサッカー協会はこれを見据えたチームの中長期的強化及び日本のユース育成ノウハウのシンガポール指導者層への伝授をも希望している。</p> <p>尚、上記のように数年先を見据えた契約となるものの、契約期間自体は単年度を基本とし、1年ごとに更新をしていく方式をとりたい。</p> <p>シンガポール協会とは近年安定的に友好関係を維持しているが、長期安定友好国にしていくためにも指導者派遣などを通じて堅固な人脈を築いていく必要がある。</p> <p>また、アジアで活躍する日本の指導者層育成のためにも元Jリーガーで指導経験も着実に積み上げてきた若手の古賀氏を派遣することをお諮りしたい。</p> |
| <p>7. 女子：特別指定選手制度 改定の件</p> <p>(協議) 資料No.5</p> <p>より多くの選手に活動機会を提供するため、制度の適用を別紙の通り改定したい。 (別紙「女子：特別指定選手制度[2011年度]」2. 概要の下段を削除)</p> <p>これにより、チャレンジリーグ出場チームに所属する選手が特別指定選手に認定された場合、なでしこリーグとチャレンジリーグの双方で出場可能となる。</p> |
| <p>8. イングランドとの審判交流プログラムの件</p> <p>昨年に引き続き、次により、イングランドFAとの審判交流を行っていきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の審判員のイングランドへの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ プレミアリーグ・リザーブでの審判 ・ 国際親善試合(予定)での審判 ・ プロフェッショナルレフェリーキャンプへの参加 他 2. イングランド審判員の日本への派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・ Jリーグでの審判 ・ 国際親善試合(予定)での審判 ・ プロフェッショナルレフェリーキャンプへの参加 他 3. 期間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2011年5月～2012年4月 4. 費用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 審判員の派遣に関わる費用は所属FAが負担 ・ 審判員の滞在にかかわる費用は滞在先FAが負担 |
| <p>9. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(新規)の件</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 公認申請者：岡山県新見(にいみ)市 <ul style="list-style-type: none"> 施設名：新見市防災公園・サッカー場 施設所有者：新見市長 石垣 正夫(いしがき まさお) 公認期間：2011年4月14日～2014年4月13日 公認番号：第110号 |

| |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ビッグターフ (65-M) /日本フィールドシステム(株)は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。 <p>2. 公認申請者：大分県由布 (ゆふ) 市</p> <p>施設名：由布市挾間上原 (はさまうえはら) グラウンド (サッカー場)</p> <p>施設所有者：由布市長 首藤 奉文 (しゅとう ほうぶん)</p> <p>公認期間：2011年4月14日～2014年4月13日</p> <p>公認番号：第111号</p> <p><特記事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ハイブリッドターフ (XP-62) /住友ゴム工業 (株) は製品検査 (ラボテスト) を完了し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。 ◆公認規程に基づき2回の検査 (フィールドテスト) を実施し、JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。 |
| <p>10. プレジデント・ミッション (PHQ) 関連事項の件</p> |
| <p>I. 2011年度「47FA公益目的事業等活動支援金」の要項変更について (協議) 資料No.6</p> |